

学習課題

みんなで解決したい問い

優れた行動描写や情景描写に注目して読み、物語の魅力を紹介文で伝えよう。

主体的に学習に取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

- ⑦ 行動描写や情景描写などを捉え、思考に関わる語句を増やし、語彙を豊かにする。(11才)

考えること・表すこと

思考・判断・表現

- ① 人物像や物語などの全体像を具体的に想像し、表現の効果を考える。(C11E)
- ② 最も伝えたい物語の魅力を紹介文にまとめる。(C11オ)

工夫して学ぼうとすること

- ④ 最も伝えたいことがわかるように書き直ししながら、推薦文を書こうとしている。

振り返りの観点

【この単元を通した振り返り】

- 優れた描写をもとに、登場人物の心情や相互関係を捉えるとき、どのようなことに気づきましたか。
- 推薦する文章を書くとき、どのようなことに気づきましたか。

ゴール

【第3ステージ (2) 時間】 評価 ㊦

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ⑨ 自分が最も魅力を感じたことをもとに、推薦文を書く。
- ⑩ 推薦文を見直したあと文章を読み合い、学習を振り返る。

【第1ステージ (2) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ① 物語を読んで登場人物どうしの関係を捉えた経験を振り返り、『大造じいさんとがん』を読んで学習課題を立てる。
- ② 物語の魅力伝える推薦文を書くために必要なことを考え、学習課題の解決の見通しとゴールのイメージをする。

【第2ステージ (6) 時間】 評価 ㊦㊧㊨

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ③ 「行動描写」「心情描写」「情景描写」を本文から抜き出し、描写からどのような心情がわかるかまとめ、物語全体の内容を捉える。
- ④ 優れた描写をもとに、登場人物の心情や相互関係を捉える。
- ⑤⑥ 叙述に書かれていない大造じいさんや残雪の心情を想像し、それぞれの視点から心情の変化をまとめる。
- ⑦⑧ 自分がもし大造じいさんなら、残雪が飛び去っていくのを見守った翌年、どのようなことを考えたり行動したりするか、理由を明確にしながらまとめる。

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

【この単元に関わって知っていること・できること】

物語を読んで感想を伝え合う活動を通して、物語の全体像を具体的に想像したり、登場人物どうしの関係の変化を考えたりする。



小学校5年『大造じいさんとがん』授業のポイント

単元名 優れた描写に注目して読み、推薦文で伝えよう

本教材は、がんの頭領「残雪」と狩人「大造じいさん」との間で繰り広げられる交流について、「情景描写」「行動描写」「心情描写」が効果的に描かれている物語です。頭領としての誇りをもち仲間を思う残雪にしたいに心を動かされ、大造じいさんの心情は変化していきます。その心情の変化を踏まえながら優れた描写やその効果について考えていくことが、物語の魅力に迫ることにつながります。読者は、本文に直接書かれていない登場人物の心情について、人物どうしの関係の変化を捉えながら具体的に想像し、物語の魅力伝える推薦文を書くことが考えられます。



1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、言語活動例「イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動」を具体化し、教材文を読んで最も魅力を感じたことを、まだ読んだことがない相手に伝える推薦文を書く活動を行います。本活動では、推薦する文章を構成する要素として、「①優れた描写に注目して把握した、物語全体の内容」、「②作者が読者に伝えたいことについての自分の考え」、「③物語の魅力についての自分の考え」、の三つの内容を記述し、それぞれの要素にそって、文章を繰り返し読む必要があります。この活動を通して、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする能力を育成することができます。

本単元の「思考力・判断力・表現力等」の目標との関連においては、物語の魅力伝える推薦文を書くという目的を意識することで、優れた描写に注目し、物語全体を具体的に想像できるようにします。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	• 行動描写や情景描写などを捉え、思考に関わる語句を増やし、語彙を豊かにしている。…(11才)
思考・判断・表現	◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。…(C11E) • 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。…(C11オ)
主体的に学習に取り組む態度	• 粘り強く優れた叙述に注目して、人物像や物語の全体像を想像し、学習の見通しをもって、物語の魅力を紹介する文章を書こうとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、登場人物の心情を想像して書いた文章や、登場人物になりきって書いた文章をもとに、それぞれの内容を整理したり統合したりしながら、物語の魅力を紹介する文章を400字程度で書きます。

第2ステージでは、優れた描写に着目して読むことで、物語全体の内容を把握し、児童が登場人物の心情や人物どうしの関係の変化を自分のことのように主体的に捉えられるようにします。この学習過程で、作者が読者に伝えたいことについての自分の考えを明確にすることが必要です。

第3ステージでは、第2ステージの活動で最も実感した物語の魅力について、まだ物語を読んでいない人に伝えるように、自分の考えをまとめます。

物語の魅力を紹介する400字程度の文章例 (終末段階)

【上段：大造じいさんの視点 下段：残雪の視点】

①この物語には、かりゆうどてある大造じいさんとがんの群れを率いる「残雪」との戦いの様子が描かれています。残雪の仲間を守ろうとするがために、大造じいさんの心が動かされていきます。

②作者の樟鳩十さんは、「ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけだった」という表現を通して、動物も人間も仲間や家族を思う気持ちは同じであることを伝えたいのだと思います。

③この物語のみは、読み進めていくと、ドキドキするような緊張感のある場面もありません。人間と動物の心の交流がえがかれ、命を守ることの大切さも伝わってきます。

ぼくは、犬を飼っていますが、母犬が子犬を守るがために似ていると感じました。だれかを守るために、強く生きていくことが大切です。

これから生活に生かすことができない物語です。ぜひ、一読して感想を聞かせてください。

①この物語には、かりゆうどてある大造じいさんとがんの頭領「残雪」との知え比への様子が描かれています。残雪が仲間を守るため、必死にはやぶさど戦うがために、大造じいさんは心を打たれます。

②作者の樟鳩十さんは、「快い羽音一番。直線に空へ飛び上がった。」という表現を通して、リーダーとして、迷うことなく堂々と行動することのすがすがしさを伝えたいのだと思います。

③この物語のみは、登場人物の気持ちや、行動や情景がよって表現されているところに、さらに、残雪の具体的な行動から、かしのや勇気があることが想像できます。常に、リーダーシップがあることも伝わってきます。

わたしは、サッカーチームのキャプテンをしています。自分のことだけではないで仲間のことまで考えていませんでした。リーダーとして勇気の大切さを感じました。生活を見つめ直していきます。

感動するの、みなさんで声をかけあって読んでみてください。



ワンポイント

書かれていない登場人物の心情について想像したことを100字程度にまとめた文章例

「むねのあたりをくれないにそめて、ぐったりとしていた。自分の子どもだけでは、仲間も間のことでも自分の子どもと同じくらい大切なのだ。仲間を守るためならどんなことでもする。仲間を救うことができたのだからもう思い残すことはない。あとい残すことはない。あとい残すことはない。あとい残すことはない。」

解説

特に心情や相互関係に変化が見られると思う描写を選び、「わたしは、……大切なのだ。」など、一人称に言い換えながら100字程度にまとめている。



ラーニング・マウンテン
についてはこちらから

ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —
【5上『大造じいさんとがん』】

単元名〔

〕全()時間



みんなで解決^{かい}したい問い

わかること・できること

考えること・表すこと

工夫^{くふう}して学ぼうとすること

【第 **3** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉



ゴール

【この単元を通したふり返り】

【第 **2** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

【第 **1** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

スタート



【この単元に関わって知っていること・できること】